

## プレキャスト工法でインドネシアを水害から守る！

～プレキャスト雨水浸透側溝・貯留施設の導入で防災・災害対策能力を強化～

国際協力機構（JICA）は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ヤマウ（福岡県福岡市、中村健一郎代表取締役社長）が提案する「プレキャスト雨水浸透側溝及び貯留施設の導入にかかる案件化調査」（インドネシア共和国）を採択しました。

調査対象地である南スラウェシ州マカッサル市及びその周辺地域は、海拔が低く平坦な地形であることに加え、雨季には雨水排水施設の処理能力不足により道路冠水や住宅浸水などが頻繁に発生するなど、災害への脆弱性が指摘されています。

そこで本調査では、同社の製品である、側溝の側壁や底面部から雨水を地中に浸透させる「プレキャスト雨水浸透側溝」と、従来施設よりもよりコンパクトで強度と品質が確保された「プレキャスト雨水貯留施設」を導入することによって、水害への対応力（レジリアンス）を強化し、安全で安心な防災・災害対策の実施を目指します。



プレキャスト雨水浸透側溝



プレキャスト雨水貯留施設

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL：<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当：浅井

TEL 093-671-8204 e-mail：[Asai.Hiroshi@jica.go.jp](mailto:Asai.Hiroshi@jica.go.jp)